

ご挨拶

敬愛する皆様へ。

イエス・キリストの復活を祝うイースターにあたり、心からのご挨拶を申し上げます。

NPO法人「東北ヘルプ」代表として2022年に最後のご挨拶をお送りしてから、3年が過ぎました。この間、東北の被災地と被災者の方々への皆様の変わらないお祈りとご支援に支えられ、川上直哉新代表を中心とした新しい働きが守られてきましたことに理事の一人として心よりの感謝を申し上げたいと思います。

教会の働きの関係で関西に移ってからも、オンラインでの理事会とこのニュースレターが、私と東北をつなぐ動脈のような役割を果たしています。実際、この「ニュースレター」は、震災以来、被災地の“今”を伝える本当に大切な情報源です。しかも、単なるニュースだけではない、現地で被災者の方々と共に生きまた支援活動を続けておられる牧師やキリスト者による、信仰者としての“思い”や“視点”が語られている点が実にユニークなのです。

私は、この「ニュースレター」を読むたびに、この国でキリスト者として生きるとはどういうことなのかをいつも考えさせられます。簡単には答えの出ないいくつもの問い合わせの中で、被災者の方々と共に悩みつつ歩んでいる信仰者たちの姿こそ、私たちが模範とすべき姿ではないかと思うからです。

さて、今年もイースターを迎えました。イエスの“復活”という出来事は、考えてみれば、不思議な出来事です。死人がよみがえったというのですから不思議なのは当たり前ですが、そうではなくて、イエスの復活を受け止めた人々の人生もまた“復活”させられたからです。しかも、単に新しい生き方になったというレベルではない。この世を超越した心、まさに死をも超えて行く心を持つ者へと変えられたのでした。皆、弱い人たちでした。小さな人たちでした。しかし、彼らにとって、究極的に恐るべきものは何もなくなった。その突き抜けた強さ、突き抜けた明るさが、世界をも変えて行く力となりました。

被災者お一人お一人の痛んだ心・傷ついた心をまるでブルドーザーのように押しつぶし、無かったことにしようとする政治やお金の力があります。私たちは何もできません。ですが、この世を超えたお方が、痛んだ人々と共におられる。そこに私たちの希望はあります。

皆様の上に、復活の主の限りない恵みがありますように。

2025年復活節

理事 吉田 隆